

今回は、これから1次関数を学習するために、覚えるべきことをまとめました。
ここに書いてある内容を覚えてから学習を進めていきましょう!



1次関数の式

・・・1次関数の式は「 $y = ax + b$ 」

変化の割合(傾き)

・・・1次関数の式で a にあたる部分を「**変化の割合**」または「**傾き**」という

切片

・・・1次関数の式で b にあたる部分を「**切片**」という

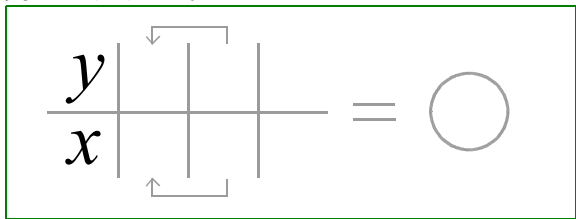
変化の割合の求め方

変化の割合を求める裏ワザの表です。
この表の使い方も次回説明するので、今は表の形だけ覚えましょう!
矢印や、「イコールまる」までしっかり書いて覚えてくださいね!

$$\left. \begin{array}{l} \text{変化の割合} \\ \text{傾き} \end{array} \right\} = \frac{y \text{の増加量}}{x \text{の増加量}}$$

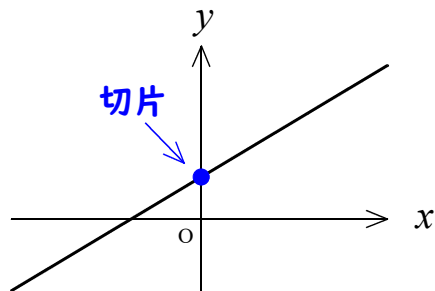
次回、詳しく学習するので
今は呪文のように
「変化の割合イコール
xの増加量分のyの増加量」
と覚えましょう!

変化の割合の求め方



切片の場所

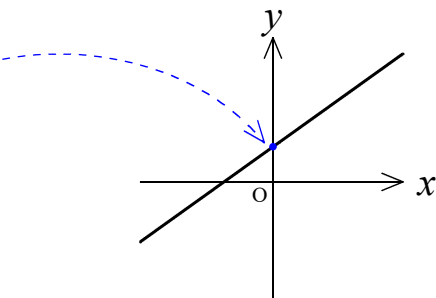
切片は、1次関数のグラフ(直線)が
y軸と交わる点のy座標である



覚えましょう!

$$y = \underbrace{ax}_{\substack{\text{変化の割合} \\ \text{傾き}}} + \underbrace{b}_{\text{切片}}$$

$$\left. \begin{array}{l} \text{変化の割合} \\ \text{傾き} \end{array} \right\} = \frac{y \text{の増加量}}{x \text{の増加量}}$$



変化の割合の求め方

